



# 小学校外国語科の評価の充実を図る!

西部教育局  
お役立ち情報  
(令和2年7月号)

## ～「書くこと」における評価のポイント編～

評価の場面: 自分たちが住む地域について伝えたい内容を整理し、自分の気持ちや考えをワークシートとミニポスターで伝えるために、前時までに話したことや書きためてきたワークシート参考にしながら書いている場面。

目標: 「書くこと」イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

【参考】文部科学省国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」より引用(一部加工)

### 単元の評価規準の例(書くこと)

知識・技能

施設・建物を表す語句やWe (don't) have ～. We can enjoy/see ～. I want ～. の表現、終止符の基本的な符号について理解している。  
自分たちが住む地域について、施設・建物を表す語句やWe (don't) have ～. We can enjoy/see ～. I want ～. の表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを書く技能を身に付けている。

思考・判断・表現

自分たちが住む地域について、相手に伝わるように、自分の考えや気持ちなどを書いている。

「書くこと」の評価をするためには、児童の書いたものをどのように見取ればよいのだろうか?



こう見取る!  
(例)

知識・技能

This is my town!  
We don't have a library.  
I want a library.  
We have a big park.  
It's good. I like jogging.  
Sakura is nice.

児童1

十分満足できる状況A

自分たちの住む地域について、そのよさや願い、自分の考えや気持ちなどを表す語句や表現をすべて正しく書いている。

This is my town!  
We don't have a zoo.  
I want a zoo.  
We have boach.  
Nice!!  
Sakura is nice.

児童2

おおむね満足できる状況B

自分たちの住む地域についてそのよさや願い、自分の考えや気持ちなどを表す語句や表現を一部正しく書いているが、おおよそ正しく書いている。

This is my town!  
We don't have a zoo.  
I want a zoo.  
We have a Park.  
Sakura is nice.

児童3

努力を要する状況C

自分たちの住む地域について、そのよさや願い、自分の考えや気持ちなどを表す語句や表現を四線上に正しく書いていない。

思考・判断・表現

十分満足できる状況A

自分たちの住む地域について、相手に伝わるように、そのよさや願いなど、自分の考えや気持ちを単元で学習した語や巻末のWORD LISTを調べて語を選んだり、文字と文字、語と語の間隔に適切なスペースをおいて、適切に書いたりしている。

おおむね満足できる状況B

語と語の間隔を空けないで書くなど、自分たちの住む地域について、相手によくわかってもらえるようにという観点からは、適切でない部分が見られるものの、おおよそ適切に書いている。

努力を要する状況C

自分たちの住む地域について、相手によくわかってもらえるようにという観点からは、単語や語と語の間隔を適切にとって書いていない。

おおむね満足できる状況Bとなるように、その後も適切な支援をすることが大切です。

### 授業づくりにおいて留意したいこと

小学校外国語の「書く」とは、例文を見ながら、自分の考えや気持ちを表現するために、例となる文の一部を別の語に替えて書くことです。

中学校の先生方も、ぜひご確認ください!



小学校では、単語を覚えて書けるということを目指していません。小学校では、大文字、小文字を活字体で書くことができるようにすること、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を「書き写す」ことができるようにすることなどを目標としています。

ワークシートを単元の終末段階で書く場合、それ以前に、話したり、聞いたりして、使用する語や文に十分に慣れ親しんでいることや、使用する語や文を少しずつ書きためていることなどが必要になります。また、自分で伝えたいことを考えたり、選んだりすることも重要です。単元のゴールを見据えた授業づくりが大切です。